

進学指導の具体的方策

(1) 補習について

①平日補習について

●4・5年次の朝補習

- 1) 教 科 国語・数学・英語
- 2) 授業内容 授業を補完し基礎・基本の学力を定着させるための内容
- 3) 期 間 4月中旬～2月下旬期末考査発表まで。
補習は定期考査時間割発表後、実力テスト4日前、高校総体前1週間から中断する。
- 4) 実施曜日、時間
週4回(火～金) 7:50～8:20(30分)
- 5) 受 講 者 4・5年次は、41、42、51、52HRは全員受講
他のクラスは希望者
- 6) 出席指導(6年次も) 補習出席簿を進学課が作成し、教科担任がつける。欠席や遅刻者についてHR担任と教科担任が協力し指導し、保護者へも出席状況の報告と協力を依頼する。教科担任、HR担任は出席簿を整備・点検する。
欠席連絡等の電話を受ける進学課当番(1名)を置く。

●6年次の朝補習・放課後補習

- 1) 教 科 国語、数学、英語、地歴・公民、理科
 - ・朝(月～金まで計5回)と放課後(月～金まで計5回)の週あたり合計10回実施する。
 - ・地歴2回、物生地2回、公民または化学1.5回、英語1.5回、
数学1.5回、国語1.5回実施することを基本とする。
 - * 1.5回は2週で3回実施
 - * 朝補習と放課後補習のバランスを取るため、2学期に一部入れ替え
 - * 火水金の8限目についても実態に応じて検討する。
- 2) 授業内容 大学・短大・専門学校入試に対応する学力の養成
- 3) 期 間 朝補習は4月中旬～1月中旬まで。定期考査4日前から、高校総体前1週間からから
中断する。
放課後補習は総体後～1月中旬まで、定期考査4日前から中断する。
- 4) 実施曜日、時間 朝は週5回(月～金) 放課後5回(月～金)
 - 朝 7:50～8:20(30分)
 - 放課後7限目 15:45～16:35(50分)
 - 8限目 16:45～17:35(50分)
- 5) 受講者 61、62HR全員、他のクラスは希望者
- 6) 2学期末考査終了後から終業式までの間はセンター試験対策補習を別に計画する。

②長期休業中の補習について

夏季休業中 4, 5年次 9日間、6年次 20日間

冬季休業中 4, 5年次 3日間 6年次 5日間

夏 季

4・5年次(全員参加)	6年次
英・数・国 <9日間> 8:30～12:00(60分3限)	英・数・国・理・地歴・公民<20日間> 8:30～13:40(60分4限)

冬 季

4・5年次（全員参加）	6年次
英・数・国 <3日間> 8：30～12：00（60分3限）	英・数・国・理・地歴・公民<5日間> 8：30～14：55（60分5限）

③ 国公立大二次対策・私立大対策特別授業

6年次
2月より 授業時間帯に実施 英・数・国・理・地歴・公民・小論文・面接・実技

(2) 質問タイムについて

基礎学力向上を図るため、定期考査前、希望者に対して質問タイムを次のとおり設ける。

4・5年次	6年次
定期考査7日前から前日の7限目 (月・木を除く)	定期考査3日前から前日の7限目 (月・木を除く)

- ①各先生が生徒の質問に答える機会を原則1回設けるものとする。
- ②実施場所は特別教室とする。

(3) 校内実力テストについて

- ① 年間に4・5年次は4回、6年次は2回実施する。
英・数・国は80分（4年次の第1回のみ60分）、理科・地歴・公民は50分で実施する。
英・数・国は200点、理・地歴・公民は100点満点とする。
順位は偏差値合計でつける。（理系で理科2科目、文系で地歴・公民の2教科を受験した場合は平均偏差値で計算する）
- ② 出題範囲は、年度当初に年間計画を生徒に知らせる。
- ③ 成績は、次年度のクラス分けの資料とする。
また、指定校推薦会議資料とする。
- ④ 教科・科目の評価に入れる。プラス点として加える。

(4) 校外模試について

41・42HR、51・52HR、61・62HRは全員受験とする。
これ以外のHRについては、希望者受験とする。
ただし、4・5年次は年間3回（7月、11月、1月実施）の進研総合学力テストを全員受験とする。成績は次年度のクラス分けの資料とする。

(5) 「朝の学習」について

- ① 時間 毎日 8：40～8：50（10分）
 - ② 内容 ・『朝の学習ノート』を使った自学自習中心の学習。
- ◇ 4, 5年次は漢字検定、英語検定合格および語彙力の修得を目標とした学習を行う。
- ・4年の目標 … 漢検 準2級 英検 3級, 準2級 合格
 - ・5年の目標 … 漢検 2級 英検 準2級, 2級 合格

国語の教材 4・5年 常用漢字アルファ（桐原）

英語の教材 4年 ワードマイスター（第一） 5年 データベース3000（桐原）

月	火	水	木	金
国語	英語	国語	英語	国語小テスト、英語小テスト

- ・月から木までは自学自習の時間とする。
 - ・金曜日は国語小テスト、英語小テストを交互に実施する。自己採点し回収をする。
- ◇ 6年次は各自の進路目標達成のための学習を行う。
- ・各ホームルームで選んだ教材を使い、毎日『朝の学習ノート』を利用した学習を行う。
 - ・クラスの実情に合わせて担任・教科担任から課題を与える。
- ③ 運営 ・4・5年次は年次、教科で学習内容を統一して指導する。
- ・指導は担任または副担任が行う。
 - ・運営は各年次の担当者（進学課員）を中心に行う。
 - ・朝学ノートを利用する。生活の記録を記入する。
- 随時見直しをする。

※『朝の学習ノート』は 進学室で90円で販売する。

(6) サタデーサポート実施について

- ① 目的：土曜日を活用し、希望者を対象に、基礎学力の定着を図り、さらに発展的な学力の向上を図るための支援を行う。
- ② 対象：意欲的に取り組む生徒（希望者）
- ③ 実施日程：
4年次、5年次（計13日） 6年次（計6日）
- ④ 実施教科：4, 5年次 英語、数学、国語
6年次 英語、数学、国語、地歴・公民、理科
- ⑤ 時間割例：1時限目； 8：30～ 9：50（80分）
2時限目； 10：00～11：20（80分）
- ⑥ 内容：校外模試の演習など発展的なレベルを行う。
- ⑦ 担当教員：4, 5年次は所属年次の教科担任で行う。
- ⑧ その他：
 - ・受講生徒および指導教員の障害保険を掛ける。
 - ・PTA活動行事とする。
 - ・受講希望者より4, 5年次は2,000円、6年次は1,000円徴収する。

(7) 小論文学習について

10年後、自分に明るい展望が持てるような生き方を身に付けるための教材開発や指導方法の研究が急務。その一つが小論文学習である。本校での小論文学習は、人権学習や環境学習を中心に行われている。それに加え、2つ以上の価値観を持ったり、論理的に思考したり判断する力を養成したい。具体的には、

- 1) 小論文委員会組織を中心に全教員で小論文指導をおこなう。
- 2) 小論文テストを4年1回（12月）、5年2回（7月、12月）、6年1回（7月）におこない、事前指導と事後指導を計画的におこなう。
- 3) 小論文講演会を行う。（11月）